



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東名

上場会社名 ユタカフーズ

コード番号 2806 URL <http://www.yutakafoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 古里 親

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 牧 清忠

TEL 0569-72-1231

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	16,140	△1.4	1,067	24.7	1,146	25.1	765	28.3
27年3月期第3四半期	16,370	△3.7	856	△19.8	916	△21.0	596	△16.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第3四半期	110.21	—
27年3月期第3四半期	74.39	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第3四半期	20,486	17,457	85.2	2,512.35
27年3月期	19,611	16,872	86.0	2,428.07

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 17,457百万円 27年3月期 16,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
28年3月期	—	20.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	22,000	4.0	1,250	14.0	1,300	11.2	880	5.5	126.64

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	8,832,311 株	27年3月期	8,832,311 株
28年3月期3Q	1,883,517 株	27年3月期	1,883,282 株
28年3月期3Q	6,948,939 株	27年3月期3Q	8,021,978 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益・雇用・個人所得の改善が見られ景気は概ね回復傾向に推移しましたが、原油価格の下落や欧州、新興国経済の先行きの不透明感の増大及び米国の金融政策の影響など景気下振れリスクの懸念があり、依然として先行きは不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、食の安心・安全に対する関心が一層高まるとともに、輸入原料を中心に原材料価格の上昇が依然続く状況にあり厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中で、当第3四半期累計期間の売上高は16,140百万円（前年同期比1.4%減）、利益面につきましては、ローコストオペレーション体制の強化等により営業利益は1,067百万円（前年同期比24.7%増）、経常利益は1,146百万円（前年同期比25.1%増）、四半期純利益は765百万円（前年同期比28.3%増）となりました。

セグメント別では、液体調味食品部門は、業務用調味液の売上が増加し、売上高は2,835百万円（前年同期比11.6%増）、セグメント利益は359百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

粉粒体食品部門は、顆粒製品の受託が伸び、売上高は3,625百万円（前年同期比9.1%増）、セグメント利益は133百万円（前年同期比91.5%増）となりました。

チルド食品部門は、焼そば、生ラーメンの受託が好調でしたが、ゆで麺のアイテムが低調に推移し、売上高は2,471百万円（前年同期比4.1%減）、セグメント利益は214百万円（前年同期比5.0%減）となりました。

即席麺部門は、袋麺の受託が好調でしたが、カップ麺の受託が低調に推移し、売上高は5,891百万円（前年同期比10.6%減）、セグメント利益は経費節減に努め335百万円（前年同期比54.8%増）となりました。

その他は、水産物の取扱いの減少に伴い、売上高は1,316百万円（前年同期比1.5%減）、セグメント利益は24百万円（前年同期比23.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

第3四半期会計期間末における資産の部は20,486百万円となり、前事業年度末と比べ875百万円増加しました。これは主に、流動資産において売掛金が467百万円、現金及び預金が300百万円増加したことによるものであります。

負債の部は3,028百万円となり、前事業年度末と比べ290百万円増加しました。これは主に、買掛金が298百万円増加したことによるものであります。

純資産の部は17,457百万円となり、前事業年度末と比べ585百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が487百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月29日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,029	7,329
売掛金	1,808	2,275
商品及び製品	423	408
仕掛品	23	12
原材料及び貯蔵品	281	343
関係会社短期貸付金	3,500	3,500
その他	112	86
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	13,174	13,950
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,985	1,894
機械及び装置(純額)	1,422	1,295
その他(純額)	979	1,131
有形固定資産合計	4,388	4,320
無形固定資産	45	36
投資その他の資産	2,002	2,178
固定資産合計	6,436	6,535
資産合計	19,611	20,486
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,297	1,596
未払法人税等	186	190
賞与引当金	173	65
役員賞与引当金	5	12
その他	463	481
流動負債合計	2,125	2,345
固定負債		
繰延税金負債	49	80
退職給付引当金	497	543
役員退職慰労引当金	65	59
固定負債合計	612	683
負債合計	2,738	3,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160	1,160
資本剰余金	1,160	1,160
利益剰余金	17,549	18,037
自己株式	△3,455	△3,456
株主資本合計	16,415	16,902
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	457	555
評価・換算差額等合計	457	555
純資産合計	16,872	17,457
負債純資産合計	19,611	20,486

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	16,370	16,140
売上原価	14,800	14,316
売上総利益	1,570	1,823
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	196	221
賞与引当金繰入額	9	8
役員賞与引当金繰入額	3	12
退職給付費用	22	20
役員退職慰労引当金繰入額	7	5
貸倒引当金繰入額	—	0
その他	474	487
販売費及び一般管理費合計	713	756
営業利益	856	1,067
営業外収益		
受取利息	23	14
受取配当金	36	38
雑収入	36	31
営業外収益合計	96	84
営業外費用		
賃貸費用	5	5
自己株式取得費用	30	—
雑支出	0	0
営業外費用合計	35	5
経常利益	916	1,146
特別利益		
投資有価証券売却益	1	0
補助金収入	2	—
特別利益合計	4	0
特別損失		
固定資産除売却損	1	0
ゴルフ会員権評価損	1	—
特別損失合計	3	0
税引前四半期純利益	917	1,146
法人税、住民税及び事業税	276	367
法人税等調整額	44	12
法人税等合計	320	380
四半期純利益	596	765

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	液体調味食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,541	3,323	2,576	6,591	15,033	1,336	16,370
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,541	3,323	2,576	6,591	15,033	1,336	16,370
セグメント利益	324	69	226	216	836	19	856

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	液体調味食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,835	3,625	2,471	5,891	14,823	1,316	16,140
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,835	3,625	2,471	5,891	14,823	1,316	16,140
セグメント利益	359	133	214	335	1,043	24	1,067

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。